

都図研
NEWS
TOZUKEN

都図研広報発行 平成30年度都図研ニュース

12月号2018 城南大会

第57回東京都図画工作研究大会（都図研70周年記念大会）

大会テーマ **子供の夢中から生まれる ～今をつくりだす図工の時間～**

平成30年11月9日（金）品川区立第三日野小学校

11月9日に開催された都図研大会城南大会について報告します。

うごきだす分科会

第1学年

えのぐでどんどん・・・



第4学年

みつけよう！すてき色水ワールド



第5学年

広がって、重なって



授業者 大畠 麻子（品川・大原）

榎澤 美生（港・お台場学園港陽）

渡邊 彩（世田谷・旭）

行為から①素材を材料へ②思考（イメージ）をもち次の行為へ③環境を場所への3つの視点を設定し、子供の内面で新しい見方や考え方が生まれたときを「うごきだす」とし、テーマに迫っていく授業でした。第1学年では、机が画用紙になった「つくえがようし」から思い付いたことをどんどん描き進めていました。第4学年では、様々な形の透明容器と色水で、自分のすてき色水ワールドを見付けていました。第5学年では、にじみを筆致や絵の具をたらしながら、自分の美しさを表していました。講師の東京学芸大学講師・横内克之先生からは「授業の中で、子供の行為と内面から表れてくる思考、思いを教師が共感的にとらえることで、子供の学びをより深いものにすることができる」とのお言葉を頂きました。

取材担当：平塚 香織（台東：黒門）

つながる分科会

第2学年

ぼうけんに行こう！



第3学年

水とねんどで・・・ウキ・ウキ



第6学年

光と光をうつして



授業者 椿 伸一（大田・矢口原）

山下 義明（港・白金の丘）

菅原 加奈子（品川・城南第二）

「つながる」を構成する主要素を経験、記憶、発想、材料、場、友達とし、それらがつながるときを「人やもののつながり」と「経験のつながり」の2つとして構成された授業である。「ぼうけんに行こう！」では小さな正方形の紙に夢中でイメージした冒険の世界を描いていた。「水とねんどで…ウキ・ウキ」では、友達と一緒に活動することでうまれるつながりや油粘土の新たな特徴への挑戦を生かして夢を生み出していた。「光と光をうつして」では、光をあてることで現れる新たな形や色を見つけていた。講師の横浜国立大学名誉教授・宮坂元裕先生からは、「各授業『つながる』ということをつまみ直し、題材へ向かって先生方の努力が感じられた。教師にとっての課題は図画工作の中で「人と人、人と物、物と物のつながり」を子供が学習するとき、どのように子供とつきあうかということだ。」と講評をいただいた。

取材担当：伊野 加菜子（台東：忍岡）

かかわる分科会

第1学年 かげであそぼう
～インドネシア文化との交流を通して～



授業者 石原 誠 (世田谷・下北沢)

社会や地域、身近な自然、図工の活動を通してそれらと出会い、主体的に関わっていく。そこで見つけた自分の色や形を生活につなげる力の育成を目指している。協議会では東京都写真美術館主任学芸員・武内厚子氏より美術館側からの学校と連携を行う視点、身近な教材として扱うことができるような美術館の利用方法をお話し頂いた。聖心女子大学教授・水島尚喜氏からは、作品には残らない子供の活動から見えるヒトが持つ動物的、原始的な感覚を呼び起こすような授業展開についてご指導を頂いた。

第4学年 大地のおくりもの
～earth in mind～



松浦 康代 (目黒・油面)

第6学年
旅するイス～世界をひらく私のイス～



玉田 深雪 (大田・高畑)

取材担当：橋本 友実 (狛江：緑野)

おもいをひろげる分科会

第1学年
すきなかたち すきないろから



授業者 青柳 仁美 (品川・戸越)

第4学年 ぶんぐくんの
だんだんランド



大場 鈴己 (目黒・不動)

第6学年
色と形のぼうけん



佐藤 雅子 (世田谷・千歳台)

「子供の中から夢中が生まれる」授業づくりのための4つの視点「材料・道具」「活動の構想」「授業者の共感的な見取り」「友達とのかかわり」を軸にすることで、「おもいをひろげる」子供の姿に迫ろうとした3つの授業提案であった。講師の東京学芸大学准教授・西村德行先生からは「図工の授業は例えてみれば造形の大喜利のようで、どの授業とも何が出てくるとワクワクさせられた。教師からの提案であっても、最後には自分がつくったんだという喜びが感じられた。何よりも『子供の姿を基にした授業研究の大切さ』を改めて感じさせられた」という講評をいただいた。

取材担当：森谷 亨 (狛江：狛江第三)

からだでかんじる分科会

第2学年
こんなかんじ↔どんなかんじ



授業者 井野 早穂里 (港・麻布)

第3学年
すっぽりスペース



青木 裕幸 (世田谷・上原)

第5学年
トロトロ カッチン 私のかたち



菅 千尋 (世田谷・烏山北)

子供の「夢中」の姿は「からだでかんじる」と「つくる」の繰り返しによって、広がり深まっていくものと捉え、また題材の構想を「からだでかんじる (ねらい)」「子供の姿」「材料・場の設定」といった視点から整理し研究を進めてきたという提案があった。講師の元都図研副会長・内野務先生からは、「友達と活動する中で相手の体を感じるということの大切な一つの要素である。また、今まで研究授業何度も見せてもらったが、素材に対して熱心に研究する姿が今日の授業にもとても活かされていた。」という講評をいただいた。

取材担当：小野里雅由 (江戸川：南葛西第三)

他校種連携・小中連携分科会

第1学年

光の対話～暗闇の中で～



第5学年

アルミ線をたたいて伸ばして



授業者 望月 未希（都立多摩高校） 大畑 裕之（品川・浜川） 細川大輔（東海） 竹内宗男（荏原第五）

望月先生の授業では、1年生がサイリウムを使っての作品づくりに取り組んでいた。カメラのシャッターを開いて光の軌跡を撮影する面白さ、またその美しさに子どもたちはすっかり夢中になっていた。細川先生の授業では5年生が材料のアルミ線を変形させたりたたいたりして作品を作っていた。太さ4mmのアルミ線は子供たちにとって抵抗感が強く、みんな真剣に材料と向き合っていた。他校種の先生方の授業を見て一番印象深かったのは「熱い語り」である。「今なぜこの題材をするのか?」「こういう気持ちでこの題材（材料）に向き合って欲しい」といった題材設定の理由や教師の思いを、要所所で子供たちに熱く語って伝え、先生方の思いが子供たちに染み込んで作業が進んでいく、そんな授業だった。

取材担当：並木 未歩（葛飾：水元）

都図研研究局

第3学年

ここをあげると・・・!?



第4学年

うって つないで・・・



授業者 菅野 光洋（新宿・市谷） 春原 瑠子（江東・北砂）

キーワードは「実感」。自分の感覚や行為を通して実感することは、図工ならではの知識になっていくと考える。多様な実感を得られる手立て、そこから思い付いてイメージを追求できる手立てを通して、「色々な子供が生きる時間」を目指す。協議会では、活発な意見交換があり、講師で前多摩図研会長・菅沼晶子先生は、「図工は、知性に先立って感性を育てる教科」と強調し、知的な理解を促すより、図工が育ててあげたい「感覚的な理解」とはどういうことを子供の姿で示してほしいとお話があった。また、東京造形大学教授・石賀直之先生は、子供の主体性に寄り添いながら、図工の学びをマネジメントすることは難題であるが、まずは先生自身が感情のセンサーを研ぐために、もっと深く考え、感じていかなければならないとお話いただいた。取材担当：渡邊 裕樹（昭島：つつじが丘）

都図研70周年記念トークライブより 未来につながる図工のために 先生方へのメッセージ

矢木先生 皆さんが図工について考えたりするとき、これから先は、集まりの中で考える時代ではない。自分がどう考えるか、それを発信するかが重要になってくる。

鈴石先生 昨日、手伝いに行っている放課後クラブで、ある女の子が「一緒に帰りたい」と行って、校門で待っていてくれた。嬉しかった。それって、知識・技能の話じゃない。大事なものは人間なんだ。生きているってこと。それを第一義にして子供と付き合ってください。

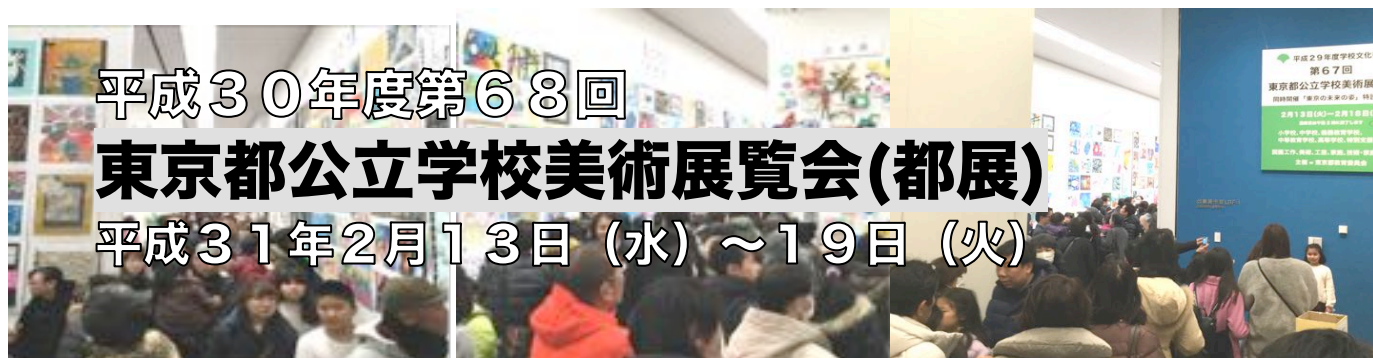
辻先生 授業をすることの真ん中にあるものって、その人の人生観とか芸術観とか倫理観とか、目に見えないものだ。その先に教育方法がある。子供との関わりを通して、先生方自身が、心の中にあるものを耕して行ってほしい。

高橋先生 若い先生方は、指導案はすごく立派なんだけど、指導する自分に繋がっていないことが多い。人は一人一人違う。人としての自分もっているものを忘れないで、授業につなげて行ってほしい。

福岡先生 行きすぎた資本主義。過剰に同調する人間。未来は暗い。「俺は俺の道を行くぜ」という人をつくっていかないと地球が潰れる。「俺は違う」と人間をつくるのが図工。その仕事に誇りをもってほしい。

飯澤先生 各学校に一人だけの図工専科だが、都図研は1200を超える図工専科の集まりで、すごいパワーをもっている。その自負をもって、ここに来て指導力を高めてほしい。 （※お名前は敬称略としています）

城南大会に多数ご参加くださいましたこと、感謝申し上げます。全体会「トークライブ」に於いて、一部不適切な発言がありましたこととお詫び申し上げます。 東京都図画工作研究会



今年度も、いよいよ東京都美術館における来場者数が一番のイベントが迫ってまいりました。

今年度の東京都公立学校美術展覧会の期間は

2/8(金) 事前搬入 2/12(火) 展示作業

2/13(水)～2/19(火) 会期 2/19(火) 撤去・搬出になります。

*2/18(月)は美術館休館日

昨年度に引き続き、事前搬入や搬出時間帯の指定が行われます。

また出品の手違いや展示作品の落下や破損等の防止のために事業部ではチェックリストを作成し、各市区町村図工部都展担当者の方に配布しました。都教委から送付されてくる要項と合わせて有効に活用していただき、円滑な都展運営にご協力お願いいたします。

事業部長 菅野 光洋（新宿：市谷）

平成30年度 都図研ゼミ 公開授業のお知らせ

日時 平成31年2月15日(金) 13:25(授業開始)

場所 荒川区立峡田小学校

授業者 三浦 航 先生(荒川・峡田小)

講師 河野 路 先生(東村山・南台小)

今年度のゼミは14名、二つの分科会で授業研究を進めています。どちらのグループも「高学年の絵に表す題材が難しいよね」という悩みを共有していて、公開授業では直球勝負で第5学年の絵に表す題材にチャレンジします。図工の若手もベテランの方々も、ぜひ授業をご覧ください、がんばるゼミ生にご指導、ご助言をお願いいたします。

都図研ゼミ担当：麻 佐知子（新宿：東戸山小）

前号の都図研ニュースに於いて、都図研大会城南大会の日時を誤って掲載してしまい、皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。